

バス路線評価シート(サンプル)

路線名	岡崎		路線番号	06801-01				
			系統番号	22				
路線分類	支線交通路線		補助区分	市補助				
路線経緯	平成19年度廃止申し出路線							
	平成20年度から単市補助開始							
主な利用目的	矢作地域北部工業地域事業所の通勤							
	東岡崎を経由するその他通勤・通学手段							
諸元	系統(区間)	東岡崎～橋目～フタバ産業前						
	運行本数	平日本数		土曜本数		休日本数		
		下り	上り	下り	上り	下り	上り	
	キ口程(km)	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9
	運行時間帯	7時台～19時台						
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用人数(人)	24,694	25,913	25,988	26,378	26,574			
運行経費(千円)		12,002	12,312	12,676	12,445			
運賃収入(千円)		7,160	8,135	7,034	6,515			
国県補助額(千円)		—	—	—	—			
市補助額(千円)	1,856	4,840	4,175	5,641	5,928			
収支率(%) ※	84.3	59.7	66.1	55.5	52.4			
利用者補助額(円/人) ※	75.0	187.0	161.0	214.0	223.0			
1便当り利用者数(人) ※					7.3			
利用率(%) ※					0.19			
※ 収支率、1便当り利用者数、利用率は定量評価指標								
接続する交通結節点(鉄道型)	名鉄名古屋本線	東岡崎駅						
	愛知環状鉄道	北岡崎駅						
接続する交通結節点(バス停型)	東岡崎							
接続するバス基幹路線	岡崎市内線	伊賀町						
	大樹寺線	東岡崎～石神橋						
	美合線	東岡崎						

路線名	岡崎		系統番号	22			
			路線番号	06801-01			
路線分類	支線交通路線		補助区分	市補助			
定量評価	指標	目標数値	数値			指標評価	
	収支率(%)	25.0	H27年度	H28年度	H29年度		
	1便当り利用者数(人)	5.0	52.4	7.3		○	
	利用率(%)	0.5	0.19			×	
定性評価	沿線住民としての必要性	事業者の当該路線維持・確保の意志	評価の視点	年度	区分評価		
			事業所として沿線住民の移動性の確保をどう考えるか	H27年度	有	当該路線は矢作北部工業地域事業所への通勤、東岡崎駅を経由する移動手段として維持すべきである。	
				H28年度			
			H29年度				
		利用者数推移	1便当り利用者数が増加傾向にあるかどうか	H27年度	増	H26 7.2人 H27 7.3人 増加傾向にある	
				H28年度			
			H29年度				
	利用率推移	利用率が増加傾向にあるかどうか	H27年度	増	H26 0.18% H27 0.19% 増加傾向にある		
			H28年度				
			H29年度				
	行政としての必要性	公共交通ネットワーク上の重要性	公共交通ネットワーク上必要な路線かどうか	H27年度	有	東岡崎駅、北岡崎駅で鉄道型交通結節点に接続し、ネットワーク上重要な役割を担っている。	
				H28年度			
			H29年度				
路線廃止の市施策への影響の有無		路線廃止した場合、他の市施策上影響があるかどうか	H27年度	無	市民の移動性の確保のため必要な路線であるが、路線廃止した場合、他の市施策に影響はない。		
			H28年度				
			H29年度				
サービス水準の適切性	生活に必要な施設へのアクセス性	通勤・通学、買い物、通院など生活に必要な施設にアクセス可能か(乗換も含む)	H27年度	不良	沿線に商業施設、医院はあるが、バス利用者に活用されていない。		
		施設が所在するだけでなく、利用者に活用されているか	H28年度				
			H29年度				
安全性・快適性等利用者の利便性	安全性・快適性等利用者の利便性	安全な運行がされているか	H27年度	良	事故は発生しておらず、10分以上の遅延は発生していない。		
		運行ダイヤは適切か	H28年度				
			H29年度				
評価結果	東岡崎駅、北岡崎駅に接続し、通勤のための移動手段として利用されており、収支率・1便当りの利用者数も目標を達成しているため、現状のまま確保維持すべき路線である。						